



トリック

TRICK

2012.10  
第7号

ニュース

## 暑い夏を超えて



森澤 雄司

栃木地域感染制御コンソーシアム TRICK' 代表世話人  
自治医科大学附属病院・感染制御部長  
日本環境感染学会・理事・国際委員会委員長  
私立医科大学病院感染対策協議会・医師専門職部会・委員長

この春の診療報酬改定により感染防止対策加算が認められてから初めての暑い暑い夏が過ぎようとしています。私たち栃木地域感染制御コンソーシアム TRICK' では秋に開催する「第4回 とちぎ感染担当者情報交換会」に向けて準備を進めています。

感染防止対策加算が算定されたことにより、病院間の連携が進み、合同カンファランスや相互訪問ラウンドなどが盛んになって来ておりますが、私たちの TRICK' は今回の加算が導入される前から年6回の運営会議・カンファランスを開催しており、いくつかの病院では TRICK' チェックシートに基く継続的な監査ラウンド、感染防止対策担当者のための情報交換会の開催、その他、すでにさまざまな企画を動かしておりますので、これまでの活動に少し手を加えるだけで算定要件を満たすことが出来るものと自負しています。加算のための活動でなく、地域に根差した感染防止対策、患者安全の取り組みをネットワークで展開する本質的な段階に進みたい時期に到達しているようにも考えています。もちろん、私たちは現実の世界で質の高い安全・安心な医療の提供を目標としているのであり、加算という追い風をいただくことは大変に有り難いところではありますが、医療費に向けられる国民・県民の厳しい目を思えば、現場の私たちは単なる経済的支援を享受するに止まらず、より高いレベルの感染防止対策の実践を目指してさらに積極的な活動へ取り組むよう発展させなければならないのです。

医療を提供する病院は、非営利組織 NPO としての本質をもっているのですから、現実世界で活動する限り経済的要件の束縛から逃れることは出来ませんが、利潤性を最終的な目的と考えるのは本末転倒となります。マネジメントの泰斗 Peter F. Drucker 先生は、本質的な主張として「ビジネスの何たるかを決定するのは顧客である (It is the customer who determines what

a business is)」と強調されています。私たちが医療を提供する患者の皆さんが顧客であると認識するならば、感染防止対策にあっては安全で質の高い医療の提供こそが最優先であり、増収目標やコストカットの側面が強調して語られるべきではありません。実は Drucker 先生は、まさしく、「ビジネスの結果は顧客の満足であり、病院の結果は患者の治癒である（The result of a business is a satisfied customer. The result of a hospital is a healed patient）」とも述べておられます。加算が取れる感染防止対策でなく、もっと現場の役に立つ実践が提供できるように心掛けたいと衷心から希望しています。

そして、私たち TRICK が目指すのは地域としての対策の充実、拡大ですから、加算を取得する要件を満たさない病院にも感染防止対策に取り組んでいただかなければならないと考えていますし、そのような病院こそ私たち TRICK が御協力しなければならぬとも考えています。暑い夏を超えて実りの秋を迎えようとしています。栃木地域に私たち TRICK の果実を提供できますように、皆さまの御支援、御鞭撻をお願い申し上げます。

### TRICK メンバーからの一言



小金井中央病院 薬剤師 庭田 昇

小金井中央病院 薬剤師の庭田です。TRICK ニュースの編集長を第4号～第6号まで担当していましたので、ご存知の方はおいででしょうか？私は平成21年にTRICKに入会しもう3年になりますが、その間にTRICK ニュースの発行やとちぎ感染担当者情報交換会、施設相互ラウンドなど色々活動をさせていただきました。その中でも施設相互ラウンドは、他施設での感染制御の現状を直接見る事が出来るので、出来る限り毎回参加させていただいています。今までに3施設の施設相互ラウンドに参加しましたが、毎回各施設での改善への取り組みに驚かされ、自施設での改善にとても参考になっています。また、TRICKでは、メーリングリストを通じて色々質問をさせていただいたり出来るので、自施設で困った時にはとても助かっております。私の力はまだまだ微力ですが、今後もいろいろ勉強し、栃木県の感染制御をズズイッと押し進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### お知らせ

TRICK では、下記の活動を募集しています。

#### ◆ 「みんなで考える感染対策」講習会

「講演会」や「実技講習会」をわかりやすく、楽しく学べるように工夫します

#### ◆ 「施設相互ラウンド」

TRICK の相互ラウンドにより、医療施設相互の情報共有化をはかり、改善策を提案します。

【問い合わせ先】自治医科大学附属病院感染制御部（FAX 0285 - 44 - 6535）

3年継続して、O 病院の循環器・脳外科・ICU：51 床の施設ラウンドを実施させて頂きました。昨年のラウンドでの私の第一印象は、「1 年でこんなに改善できるんだ！すごい」というものでした。「今年はどうなのだろう？」と昨年以上に変わっていないだろうと思う気持ちと、昨年以上にパワーアップされているのだろうか？という複雑な気持ちでラウンドに行きました。

結果、すごいんです。3年間で感染対策のお手本となる病院に変わっていたんです！！何がすごいのかと言いますと、看護職だけでなく、事務を含む多職種が一丸となり、色々な意見から改善をしていることでした。



① 病室の手洗い設備では、窓ガラスに石鹸、手指消毒薬を設置する



②毒薬を設置するスノコ（物を載せる）は清掃しやすいようにキャスターを付け可動式にする



③廃棄物の処理方法、尿器便器の消毒方法は、分りやすいように写真入りのマニュアルを設置するなど工夫がされていました。

また、O病院は院内全体として5S活動を徹底されていて整理・整頓・清掃が行き届いていたことも、お手本となるようなきれいな病院を維持しているのだと感じています。

5S活動が徹底している施設は、必然的に感染対策もなされているのではないかと感じました。

2012年の診療報酬改定により、感染防止加算1（400点）感染防止加算2（100点）感染防止対策地域連携加算（100点）が新設され、ますます他施設間の交流が多くなると思います。

院内の感染対策の整備はどこからすればよいのか？他施設をラウンドする場合にどういったところを見たらよいのか？と不安な場合、TRICKと一緒に活動しましょう！

TRICK 独自の感染対策チェックシートは、管理部門用・病棟部門監査用・自己監査用の3種類があります。このチェックシートを使えば客観的に評価ができると思います。

今後も TRICK の活動を通して、自施設のレベルアップにつなげていくだけでなく、地域における感染制御レベルの均一化と向上のお手伝いができればと思っています。

**5Sとは・・・**

- ① **整理** 要るものと要らないものを明確に分けて、要らないものをと捨てること
- ② **整頓** 要るものを使い易いようにきちんと置き、誰にでもわかるように明示すること
- ③ **清掃** 常に掃除をし、職場をきれいに保つこと
- ④ **清潔** 整理・整頓・清掃の3Sを維持すること
- ⑤ **しつけ** 決められたことをいつも正しく守る習慣をつけること



平成 23 年 12 月 1 日（木）、TRICK ラウンドとしては、はじめて介護老人保健施設を実施しました。ラウンドには、栃木地域感染制御コンソーシアム TRICK 代表世話人 自治医科大学附属病院・感染制御森澤部長をはじめ、JA かみつが厚生連総合病院斎藤看護部長、宇都宮社会保険病院神田薬剤師、小金井中央病院庭田薬剤師、小山市民病院から渡辺が参加しました。

ラウンドで私が一番驚いたことは、ディスポのおしり拭きを導入していることでした。感染防止対策上清拭タオルは、加湿加温器の管理、清潔・不潔タオルの管理などが重要になってきますが、使い捨てであればそれらが簡便になります。しかし、使用数からコストを考えるとなかなか導入できない現状があります。今後情報をいただきながら、是非検討したいと思いました。反面、サクシオンチューブが単回使用ではなく、使用後のチューブを万能壺内に収納し複数回使用していました。サクシオンチューブや水の管理は、感染防止対策にはとても重要で、高齢者で廃用症候群の患者にはリスクが高いと思われました。

環境整備については、共有する浴室（浴槽）トイレなどの水回り環境が湿っていたことと、病室・廊下に埃や汚染箇所がありました。特に、高頻度に触れるベッド周囲環境の清掃は感染防止対策上重要です。健康体である医療従事者にとって何気ない微生物でも、易感染状態、抵抗力低下、栄養状態不良の高齢者には、感染リスクが高いことを念頭に置き、感染源の持ち込み、持ち出し、拡げないことが大切です。委託業者との契約内容を確認することも必要なことかと思われまます。スタッフ間でできる環境整備を検討されると良いのかもしれない。



サクシオンに使用されている万能壺



共有されている浴槽

今回ラウンドに参加し気付いたことは、初めて介護老人健施設として第 3 者からの指摘を受けることは、とても勇気のいることでそれなりの覚悟がいることだと思いました。敢えてそれに挑む理由は、自分たちが実践している感染防止対策がこれで本当に良いのか評価してもらいたい、外部評価を有効活用して現状を打破し行動変容したいなど、現状より一歩でも前進したいと思っているからではないかと思えます。今回のラウンドにより、なかなか変えられなかったことを、変更できるチャンスとして活かしていただければと思います。評価側は、介護老人保険施設をラウンドさせていただくことで、新しい知見を得ることができました

感染防止対策はコストがかかることや限界もあるため、自施設にある資源を最大限有効利用することが大切です。問題解決のためには優先順位を決め、それが実践可能なのか、人・物・コス

ト・時間など費用対効果はどうかを考える必要があります。そして自施設使用のマニュアルを作成し、感染プログラムを構築していけば良いのではないかと思います。さらに実践後は、成果を評価し見直すことが重要だと考えます。

最後に、診療報酬改訂に伴い感染防止加算が検討され、感染防止対策をチームとして組織的に活動し、他の医療機関との連携することが評価されることになりました。垣根を越え、感染防止対策の輪を広げ結束していくことが重要であると痛感しています。今後、ますます地域ネットワークの輪が広がっていくことに期待したいと思います。私自身も微力ながら貢献し、皆さんに還元できるよう努力しなければならぬと思いました。TRICK 合同ラウンドに、参加された皆さんに厚くお礼申しあげます。ありがとうございました。

(※ラウンド施設の写真は了承を得て掲載しています)

### TRICK メンバーからの一言



社団法人 全国社会保険協会連合会  
宇都宮社会保険病院 舘野洋子

TRICK のみなさま はじめまして！ 宇都宮社会保険病院の舘野洋子です。TRICK には平成 20 年度より参加しております。途中、感染管理認定看護師教育課程への進学、資格修得を経て現在では、近隣小学校への手洗い講師や情報交換会の企画運営など、少しずつ活動の幅を広げさせていただいております。施設では毎週耐性菌のサーベイランスや手術部位感染のサーベイランスなどで病棟をラウンドし、標準予防策遵守状況や手指衛生、サーベイランスを試行錯誤しながらコツコツと続けております。現場でどんなことが起こっているか、必要な対策を現場のスタッフがどれだけ遵守出来ているかを見守りながら、時には OJT で直接スタッフに指導して現場の目線も大切にすることを心掛けて活動しております。これらの活動は非常に地味で目立たないことですが、現場で何が起こっているのか、感染率は普段どのくらいなのかを常に把握しておくこととアウトブレイクの兆候を見逃さずに介入できると痛感しています。以前ノロウイルスのアウトブレイクが起こったことを受けて、リンクナースみんなでオムツ交換の手順を見直すため、看護実習で使う人形とデジタルカメラの動画機能を使ってオムツ交換を動画記録しました。ロールプレイで演じてみて感染防止策の破たんする原因はどこかを話し合い、明確にすることができました。また汚染を広げずに交換する方法も録画し DVD にすることで、いつでも見直すことが出来る手作り感満載の DVD が出来ました。このようなイベントを仕掛けることで、自信のなかったリンクナースも少しずつ感染防止教育に興味を持ち始めたり、「こうすれば分かりやすいかな。やってみよう！」とそれぞれが積極的に知恵を出し合ったり、部署で伝達講習するなどの行動変化も現れました。一人で孤軍奮闘するばかりではなかなか成果も達成できないことも、仲間を作り楽しみながら活動すれば感染防止対策の芽は育っていくのだと感じられました。TRICK を通じて、栃木地域の感染制御に係る仲間がネットワークを通じてそれぞれの芽を育てるために少しでも役立てればよいなと思っております。



## 第3回とちぎ感染担当者情報交換会報告



### 第3回 TRICK 情報交換会報告

自治医科大学附属病院 感染制御部 渡辺美智代



平成23年11月26日、コンセーレに於いて、第3回とちぎ地域感染担当者情報交換会が開催されました。今回は、『長期療養施設での感染対策』と題した、精神科領域および療養型施設を対象にした研修会でした。どの程度の人が集まるのか、定員制限をかけるべきかそれとも制限による却って定員不足になって

はしまわないかと、海のものとも山のものとも予想できないまま準備が始まりました。ところが、予想を大幅に外れ、募集を締め切っても申し込みがくる状態で、うれしい悲鳴？を挙げながらも、お断りと各施設2名までの調整の願いの連絡を行い、最終的に聴講のみも含め91名の参加となりました。

当日は、TRICK 世話人の森澤先生の基調講演『感染対策の基礎知識』に始まり、精神病床、老人保健施設、療養病床施設の代表として栄養士、薬剤師、看護師の方からそれぞれ自施設のアウトブレイク対応の現状について報告して頂き、パネルディスカッションが行われました。その後、グループに分かれて、ファシリテーターによる進行で、感染対策で困っていることを中心に情報交換し、対策について意見交換が行われました。感染対策にまつわる研修会は多く開催されていても、療養型・精神科領域をターゲットにした研修会の企画が少ないことで、熱心な話し合いがもたれ、なかなかの盛況ぶりでした。とちぎ地域の感染対策のレベルアップのためにも、今後も対象者を絞った研修会を開催し、具体的な情報提供や情報交換の場を持つことの重要性を痛感いたしました。情報交換会の開催にあたり不十分な準備とままならない司会になったと反省していますが、ファシリテーターの方々がおおいに活躍して下さったおかげで大変な盛況で幕を閉じました。とちぎ地域の感染対策のレベルアップのために、少しずつ地域の輪を広げ



ていけるよう活動を継続していくことが必要です。平成24年度の診療報酬の改定では、感染防止加算が大幅に改正されました。感染対策の重要性と地域連携を重要視した内容となっています。今後とも TRICK 活動を上手に活用しながら、とちぎ地域の感染管理がもっともっと向上し浸透していくよう、施設が互いに手と手を取り合って協力していくことが重要だと思います。今後とも TRICK が中心となり、とちぎ地域の感染対策が充実していくことを願うばかりです。

## 第27回日本環境感染学会総会報告

### 第27回 日本環境感染学会に参加して

上都賀総合病院薬剤部 野澤 彰

平成24年2月3日から4日の2日間にわたり、第27回日本環境感染学会総会が福岡国際会議場などで開催された。テーマは「感染制御の維新を目指して」とされ、5,000人を超える参加者があった。

我々、栃木地域感染制御コンソーティアム（TRICK）も活動の一つである小学生への手洗い講習会の効果について、宇都宮社会保険病院の神田直美先生が「小学校手洗い講習会実施後の小学生の意識変化」についてポスター発表を行った。小学校2年生、5年生を対象に手洗い講習会の実施前、実施直後、実施6ヶ月後の意識変化についての調査結果を報告した。講習会直後の調査は、「すごく楽しく、良くわかった」「これからは正しい手洗いをする」が約80%であり、講習会の目的は果たせたと感じる一方で、6ヶ月後の調査では講習会前とほぼ同様となり、手洗いに対する意識は実施前に戻ってしまっていた。これについて神田先生は、洗い残しの目視確認など実技講習を行ったことにより、講習会直後では手洗いに対する意識は高まったのであろう。また、6ヶ月後にも手洗いへの意識を持続させるためには、継続した啓発活動を実施する為の地域教育施設の協力が不可欠であろうと述べられた。筆者の施設ではICTラウンドを定期的に行っているが、なかなか効果的に情報をフィードバックできないでいる。そうしたなか、今回の公演に「環境オーディットツールを活用したICT活動」という堀賢先生（順天堂大学大学院 感染制御科学）の講演があった。チェックシートをもとにラウンドしたあとの現場へのフィードバック方法について、具体的な手法が示されており、ぜひ検討してみたいと思う内容であった。また結核も日常的に遭遇する感染症であるが、医療従事者の感染リスクは大きく、十分に配慮するべき問題である。東和病院院長の毛利昌史先生による教育講演では、QFT検査の実施やQFT検査陽性後の予防的治療の重要性が語られていた。

3年前の横浜も雪が降っていたが、今回の博多も雪が時折ちらつく寒さであった。しかし、会場は数多くの参加者であふれ、活発な意見交換がされていた。TRICKの面々ともところどころで遭遇し、なかには会場外でも食事をとるなどした。博多は食べ物がおいしいところと聞いていたが、まさにその通りでもつ鍋をはじめおいしいものをたくさんいただいた。次回の第28回環境感染学会総会は平成25年3月に横浜で開催予定である。感染対策に関する自分のモチベーションアップと現場にフィードバックできる有益な知識が得られるはずです。



神田直美先生（宇都宮社会保険病院）



## みんなで考える感染対策講習会

TRICK ではより多くの方々に感染症を理解して頂くために、正しい知識や技術の普及並びに啓発活動を行っております。もし皆さんの施設やサークルで「感染症について知りたい!!」とお思いでしたら、私たち TRICK までお申し出ください。きっとお役に立てると思います。

- 「講演会」や「実技講習会」をわかりやすく、そして楽しく学べるよう工夫します。
- 開催日や時間、内容についてはご希望に添えるよう考えます。



## TRIC'K'からのお知らせ

- ◆ TRICK ホームページ <http://square.umin.ac.jp/trick/index.html>  
入会申込書、出張講義の依頼書、TRICK ニュースのバックナンバーがダウンロードできます。
- ◆ 入会希望の方は TRICK ホームページより入会申込書をダウンロードして、必要事項記載のうえ、入会申込書内の書類提出先へ郵送・FAX またはメールにて送付して下さい。

## TRIC'K' 参加施設

33施設 79名の会員が参加しています（平成24年7月19日現在）  
足利富士見台病院、宇都宮記念病院、宇都宮社会保険病院、那須赤十字病院、  
小山市民病院、上都賀総合病院、菅間記念病院、恵愛会 青木病院、光南病院、  
小金井中央病院、国際医療福祉療育園、国際医療福祉大学病院、国際医療福祉リハビリセンター、  
国立病院機構栃木病院、済生会宇都宮病院、自治医科大学附属病院、とちの木病院、  
獨協医科大学日光医療センター、獨協医科大学病院、長崎病院、那須中央病院、  
西方病院、芳賀赤十字病院、慈啓会 白澤病院、鷺谷病院、佐野厚生総合病院、  
安足健康福祉センター、新上三川病院、足利赤十字病院、国立病院機構宇都宮病院、  
藤井脳神経外科病院、晃陽会 宇都宮第一病院、下都賀総合病院、慈啓会 介護老健 しらさぎ荘（順不同）

## 編集後記

今号は、施設ラウンド報告、第3回とちぎ感染担当者情報交換会、第27回日本感染環境学会報告など掲載しました。

今年は暑いですね。暑さに負けずに感染対策頑張りましょう!!  
(N、N)

## トリックニュース

発行者：栃木地域感染制御コンソーシアム(TRICK)

代表者：森澤 雄司

編集委員：野中 正美 庭田 昇 編集協力：高岡 恵美子 野澤 彰

連絡先：自治医科大学附属病院 感染制御部 E-mail: [takaoka@jichi.ac.jp](mailto:takaoka@jichi.ac.jp) (高岡)

329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1 FAX : 0285-44-6535

